人間関係構築は体験交流で

和歌山県

和歌山「ほんまもん体験」の修学旅行
第2のふるさとを見つけに来ませんか

和歌山県では、美しい海、山、川の自然や深い歴史、文化、和歌山県ならではの伝統産業など地域の宝を、そこに暮らす人々との触れ合いの中で体感する「ほんまもん体験」を活用した修学旅行を提案しています。

ほんまもん体験の魅力は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された高野山や熊野古道、「ラムサール条約」に登録された世界最北限のサンゴの群落を見られる串本沿岸海域など、世界が認めた地域で歴史・文化体験やスポーツ体験ができることです。また、民泊の受け入れ地域は、県央域に位置する自然豊かな日高川町、清流日置川沿いに豊かな農村地帯が広がる白浜町日置川地域、本州最南端の黒潮おどる串本町と3カ所あります。受け入れ家庭の家業を手伝ったり、一緒に食事を作って食べたり、家族の一員として過ごし、自然と共生している地域ならではの生活にふれ、コミュニケーション力や積極性を身につけてもらいます。体験を通して地域在住のインストラクターとの交流も深まり、心温まる思い出となることでしょう。

魅力いっぱいの「ほんまもん体験」の中から、ぜひ修学旅行で体験してほしいおすすめのメニューを紹介します。

青梅狩り&梅干し&梅ジュース体験

みなべ町は、日本一の梅の町で、梅の最高級品と言われる「南高梅」の発祥地であるとともに全国一の梅産地として知られています。6月の収穫、そして梅干しや梅ジュースなど年間を通して梅体験ができます。

青梅狩りは、「南高梅」の園地に入って、自分の手でもぎ取ります。また、梅ジュース作りでは、南高梅と砂糖を使ってお手軽に体験していただけますし、梅干作りでは、好みの調味液を作り、梅漬けを行うので、世界に一つだけの梅干しを作ることができます。

「南高梅」の収穫や加工を通じて、梅の魅力や歴史を肌で感じてみてください。

語り部と歩く熊野古道ウォーク

世界遺産に登録されている熊野古道。メインルートの中辺路は時間と距離に応じて様々なコースがありますが、なかでも那智勝浦町の大門坂のウォーク体験は人気コースのひとつです。樹齢200年以上の杉木立の中、熊野三山に続く鎌倉造りの石畳の道を観光ガイドである語り部とともに歩きます。また、歩いた先には、青岸渡寺、那智大社、那智の滝があることで達成感も味わえ、熊野の豊かな自然と悠久の歴史を体感できる見所満載のコースです。

白崎クルーズ

「日本の渚百選」「日本の夕日百選」などにも選出され、万葉集にも詠われた白崎海洋公園をウミネコ（季節限定）にエサをあげながら周遊する船の旅です。

このクルーズでは、地元漁師が操縦する漁船に乗り、2億5千年前に誕生した石灰岩でできた岸壁を海上から観察します。手が届きそうなくらいまで船を岸壁に接近させるので、とても迫力があります。遊覧船では味わえない、スリル溢れる地元の漁師ならではの操舵技術や漁船の迫力を体験してください。

和歌山県では、県内の受入地域相互間の連携を図るため、和歌山県体験型教育旅行誘致協議会を設立し、皆さんの下見やプランニングのお手伝いをさせていただいております。資料のお取り寄せや下見現場での随行など、お気軽にご相談ください。また、是非現場で「ほんまもん体験」を体感してください。

白崎クルーズ

語り部と歩く熊野古道

全国1の梅産地でさまざまな梅体験

和歌山県観光局観光交流課
〒640-8585　和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2785　FAX 073-427-1523
E-mail:e0625001@pref.wakayama.lg.jp
URL http://www.wakayama-kanko.or.jp/

広島湾ベイエリア・江田島

美しい自然 碧い海と緑あふれる島

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会は、広島県、山口県にまたがる7市6町（広島市、呉市、江田島市、廿日市市、大竹市、岩国市、柳井市、坂町、安芸太田町、大崎上島町、北広島町、周防大島町、和木町）の自治体や経済団体などで構成。地域の自然や生活文化を生かした体験プログラムで、教育旅行の受け入れを行っています。

当地域は厳島神社（宮島）や原爆ドームなど、日本を代表する歴史文化遺産を有し、平和学習はもとより、日本の伝統や歴史文化を体験学習できます。また、カキ養殖をはじめ、底引き網漁、吾智網漁、刺し網漁などの漁業、「みかん」をはじめとした野菜や柑橘類の栽培にも適しており、他の地域にはない自然環境の中で、農林漁業を体験できます。さらに、島しょ部や山里に暮らす人々との民泊体験では、心の交流を深め、子供たち一人一人の大切な思い出として刻まれます（別項―大崎上島、安芸太田町、周防大島を参照）。

江田島市は、広島湾の中央に位置する島で、年間平均気温16・6度の温暖な気候と、瀬戸内海に面した海岸線は、変化に富み自然の美しさがあふれています。カキ養殖などの漁業と温暖な気候を生かしたみかん、きゅうりなどの農業が盛んで県内でも有数の産地を誇っています。

穏やかな内海でのシーカヤックや瀬戸内海特有の段々畑で潮風を浴びながらの農業体験など、瀬戸内のすばらしさを十分に堪能できます。ほかにも江田島焼き（陶器）や国内で4軒しか現存しない紙布などの伝統工芸も盛んで、広島市の平和学習と併せてバリエーションに富んだ教育旅行を提案できます。

民泊体験（ホームステイ）

昨年度から本格的に民泊体験の整備を行っており、現在約200人の受け入れが可能です。今後は、400人を目途に受け入れ家庭を拡大していきます。

民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく家族の一員として迎え、地元で採れた新鮮な野菜や魚などを使った夕食作り体験や、祖父母の年代とのコミュニケーションを図ることにより、家族の絆や信頼関係の大切さを感じることができ、教育効果の高い体験になると考えています。

カキ打ち体験

広島県は、言わずと知れたカキどころ。その歴史は古く、養殖を始めて450年とも伝えられています。江田島市は、むき身の生産量が国内でも1、2を争うほどのカキの本場です。

カキ打ち体験プログラムでは、むき身カキを生産するために、どのような作業と過程があるかを学び、カキ打ちの技術を体験することで、本場の江田島カキに触れていただけるようプログラムを用意しています。

みかん農家作業体験

瀬戸内海の潮風と太陽の日差しを浴びて育った江田島のみかんは、古くから日本各地に出荷され好評を博しています。

みかん農家作業体験では、剪定や肥料やり、草取りや収穫作業を行うことにより、農業の厳しさと収穫の喜びを学ぶことができます。

旧海軍兵学校　現海上自衛隊第1術科学校

海軍兵学校は、明治21年8月に東京築地から移転し、米国のアナポリスや英国のダートマスとともに世界3大兵学校として名を馳せ、数多くの将校候補生たちが厳しい訓練を受け、日本海軍の要として巣立っていきました。現在は、第1術科学校として海上自衛隊の教育機関となっています。

構内にある教育参考館には、旧海軍関係の歴史的資料約1万4000点が展示されており、神風特攻隊員たちの遺書や遺品は、見る人の心を強く打ちます。

漁業体験

民泊先で家族と一緒に料理作り

年代を超えて交流

広島湾ベイエリア内の原爆ドーム（上）と厳島神社

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当（大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510　広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-marugoto.jp/

広島湾ベイエリア・大崎上島

自然と歴史 人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43・29平方キロメートル、人口約8300人の離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれており、そのほか大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などにより主要都市とは短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中にあって、島という限られた土地に生き、造船業海運業、ミカン、レモン、デコポンといった多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、豊富な魚種が水揚げされる水産業などが、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

平成23年から体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートしました。島の特性、文化を生かしたさまざまなメニューを用意しています。

200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類の柑橘やブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験、広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」を使った海洋環境学習のほか、船舶の舵取り、エンジンルームの見学、ロープワークなどを学べる体験乗船など島をまるごと体験していただけます。

また、民泊登録家庭も多数あり、約400人の受け入れが可能で、漁業や農業の生業とする島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特の人情を感じ、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。

これら「まるごと島体験」が自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育むきっかけになればと考えています。

皆さまに安心して来島いただけるよう安全、衛生、防火など各種講習会を行っています。万全の体制でみなさまをお迎え致しますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

櫂伝馬（体験人数100人）

農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

シーカヤック（体験人数100人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚が棲む「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場を観察し、環境学習をします。

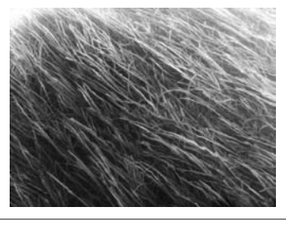
和船文化を受け継ぐ大崎上島には、200年以上も前から伝わる木造船があります。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる櫂伝馬であり、心をひとつにチームワークの大切さを学びます。

空から見た大崎上島

200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験

生命について学ぶシーカヤック

温暖な気候の中で営まれる農業を体験


甘藻場は豊かな海の証

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当（大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日　8；30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510　広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-marugoto.jp/

広島湾ベイエリア・安芸太田町

日本原風景の町 民泊の受け入れを開始

「西中国山地に抱かれた暮らし・交流・元気のまち」をスローガンに掲げる安芸太田町。広島市中心部から車で約45分、広島県北西部に位置し、西中国山地国定公園の豊かな自然環境に恵まれた地域で、日本最南端の豪雪地域です。

当町は、今なお日本の原風景が広がるまさに都会の縁側と言える地。昔も今も人々はお互いを思いやり、先祖を敬い、命の大切さを子供たちに伝えながら暮らしてきました。そんな人情あふれる町民と交流し、本物の田舎暮らしを体験することが忘れかけていることを伝えるお手伝いができれば幸いです。

さあ皆さん、安芸太田町へきんさいや（来て下さいね）。皆さまのご来町を町民一同心からお待ちしています。

人情田舎民泊体験（ホームステイ）

安芸太田町は、ひろしかくも時には厳しくもしまな芸北神楽をはじめさまざまな伝統、風習が今なお色濃く残る土地です。

地域住民との民泊による交流は、都市部では希薄になりつつある人と人との信頼関係、家族の絆、命を育む大切さ、命を頂く大切さなど身をもって学ぶ機会となることでしょう。

受け入れの主力は人口の45%を占める高齢者です。高齢者ならではの視点で若い生徒たちに、日本人が忘れてはならないことをしっかり伝えます。家族の一員として温かく、ときにはしっかりと体験します。

現在、最大400人の受け入れを目指し、100軒の民泊家庭の登録を進めています。

おすすめ体験

太田川ラフティング

安芸太田町では、ラフティング体験をスタートさせました。1艇最大生徒8人、インストラクター1人で構成され、安全管理教育を徹底的に施されたインストラクターとともに最長約4キロメートルのコースを全員の協力で時には水しぶきを浴びながら下ります。途中川遊びなどもあり、清流の多様性を学ぶ良い機会となるでしょう。

特にチームワーク醸成には非常に効果的です。

なお、全国のラフティング事業者で構成するRAJに加盟しており、保険適用などもすべて全国水準ですので安心してお任せください。

温井ダムカヌー体験

温井ダムは黒部ダムに次ぐ日本で2番目の高さを誇るアーチ式ダムで、ダム湖は通称「龍姫湖」と呼ばれています。市街地からわずか10分で巨大なダムが存在することは極めて稀で、それだけ山深いところです。

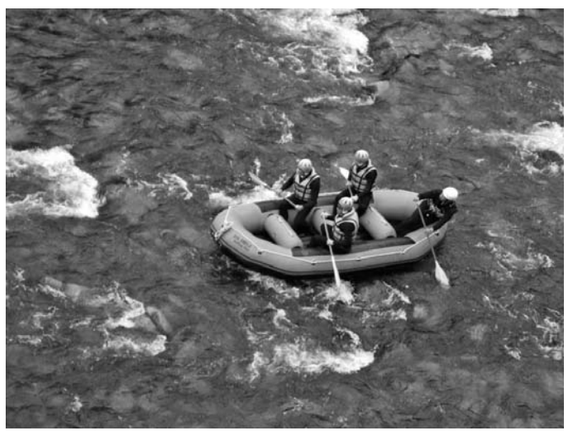
そして、里山の名残を水面下に見ることができます。かつて湖の下には確かに人々の生活があったことを噛みしめながら貴重なカヌー体験をしていただけます。

安芸太田式平和教育

世界初の原爆投下で、広島では大勢の人が放射能被害を受けました。その方々も高齢となり「生」の声をお伝えできる期限が迫っています。当町でも原爆被害者が多数在住しています。

その被害者の方々に協力いただき、原爆被害体験を皆さまに座談会形式でお伝えします。

全体講話ではなく、クラスごとに当町の集会所で車座になり、目の前で悲惨な被害状況を対話を通じて、平和であることのありがたさを、生徒の皆さんの心にしっかり浸透させられると確信しています。


太田川でのラフティング

空から見た龍姫湖

井仁の棚田、秋風の頃

恐羅漢樹氷

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当（大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510　広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-marugoto.jp/